PRESS RELEASE

報道関係者各位

2026 年 11 月 24 日
株式会社オーケーウェブ

「ありがとう」をつないで 27 年。オーケーウェブ、ライブ配信領域へ事業展開
～ライバープロダクション「OKLIVE」始動～
炎上させない・孤立させない・無理をさせない。助け合いのコミュニティ運営の知見で、ライバーの挑戦を長く支える

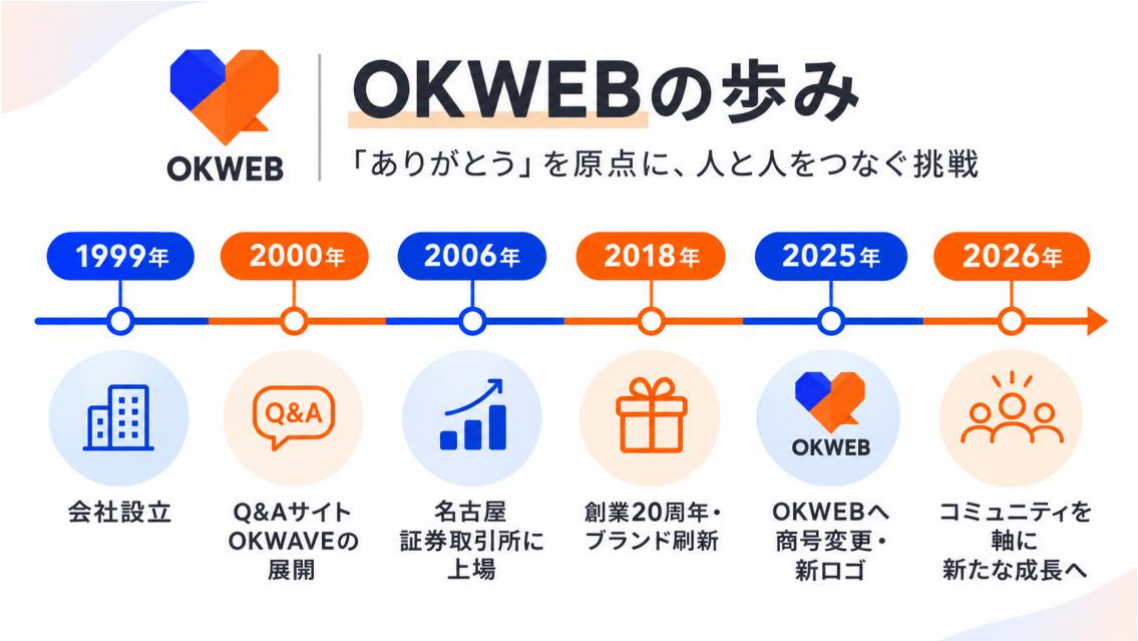
株式会社オーケーウェブ（本社：東京都港区、代表取締役社長：杉浦元、証券コード：3808、以下「オーケーウェブ」）は、グループ会社の JINEN 株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：本嶋崇志、以下「JINEN」）とともに、ライバープロダクション「OKLIVE（オーケーライブ）」の提供を 2026 年 11 月 15 日より開始しました。
OKLIVE は、Q&A コミュニティ「OKWAVE」で培ってきた、人と人が助け合い、感謝を伝え合う場づくりの知見に、JINEN のコミュニティ設計と AI による配信分析を掛け合わせたライバープロダクションです。報酬 100%還元・ノルマなし・他事務所との兼務 OK という活動を縛らない条件のもと、配信で育てた発信力を、企業案件やリアルなつながりといった「次の仕事」へ広げていきます。

サービスサイト：https://oklive.jinnen.co.jp/



OKWAVE が育ててきた「ありがとう」の 27 年
見知らぬ誰かの困りごとに、別の誰かが自分の経験で答え、「ありがとう」が返ってくる。

オーケーウェブは、この小さな循環を 27 年間育ててきました。
1999 年 7 月に設立し、2000 年 1 月に Q&A コミュニティ「OKWAVE」（当時の名称は「OKWeb コミュニティ」）の提供を開始しました。2006 年 6 月には名古屋証券取引所ネクスト市場に上場しています。2018 年 12 月にはサンクスカードサービス「GRATICA」の提供を始め、従業員同士が感謝を伝え合う仕組みとして、700 社以上の企業に導入されています。
OKWAVE でこれまでに生まれた「ありがとう」は、累計 4,800 万件を超え（2026 年時点）、創業以来、炎上ゼロでコミュニティを運営してきました。2026 年には、コミュニティ設計・運営を専門とする JINEN がグループに加わりました。これにより、「ありがとう」が生まれる場づくりを、組織や地域、そして新しい領域へ広げる体制が整いました。



なぜ、いまライブ配信なのか

ライブ配信では、配信者の何気ない会話や笑顔に、視聴者がコメントやギフトで応援の気持ちを返します。誰かの役に立ち、感謝が返ってくるという構造は、OKWAVE で回答者に「ありがとう」が届く仕組みと同じです。オーケーウェブは、ライブ配信のギフトを「ありがとう」の新しいかたちだと捉えています。
推し活の市場規模は約 3.8 兆円（※1）、推し活人口は約 1,384 万人（※2）と推計されており、誰かを応援する文化は大きく広がっています。一方で、配信する側には課題もあります。誹謗中傷や炎上、収益の不安定さ、ひとりで悩みを抱え込む孤立です。ネット上の誹謗中傷に関する公的窓口への相談件数は、2024 年度に 3,989 件と過去最多を更新しました（※3）。
匿名の人どうしが関わるコミュニティで、安心して助け合える場を守ること。これは、OKWAVE が 27 年間向き合ってきたテーマです。その運営の知見を、今度は配信者と視聴

者を守るために活かします。OKLIVE では「炎上させない・孤立させない・無理をさせない」を運営方針に掲げ、ライバーが仲間と支え合いながら、ノルマなく自分のペースで配信を続けられる環境づくりに取り組みます。
オーケーウェブグループは、「The Community Tech」を事業コンセプトに、人と人との関係性から新たな価値が生まれる経済圏「Community Economy」の構築を目指しています。OKLIVE は、配信者と視聴者の間に生まれる応援や感謝を、持続的な関係性と新たな活躍の機会につなげる取り組みであり、当社グループがコミュニティ事業を新たな領域へ広げる実践の一つです。

サービス概要

配信を伸ばすサポート

OKLIVE では、ライバー一人ひとりの目標やペースに合わせて、次のようなサポートを選んで利用できます。

- 配信サポートシステム：コメント分析や配信レポート、AI によるアドバイス、盛り上がった瞬間の自動切り抜きで、配信の振り返りと改善を続けられます。
- ライバーコミュニティ：ライバー同士で学び合い、悩みを相談できる仲間と、経験者のサポートがあります。
- スクール：現役ライバーの個別メンタリングやコラボ配信を通じて、配信スキルやファンづくりを実践しながら学べます。

ご相談・ライバー登録は無料です。

配信の外へ広がる活躍の場

配信で育てた発信力を、企業や地域の PR 案件など、ライブ配信以外のお仕事につなげていきます。また、東京・五反田には、ライバー同士がリアルに集まれる拠点を用意しています。

OKLIVE で活動するライバーの声



にし（20 代・TikTok）

「学生時代は学校に通えない時期があり、社会にうまく馴染めないと感じながら過ごしてきました。思い切ってライブ配信を始めてみると、最初の 1 週間で 1 万人以上の方が配信に来てくれて、ファンクラブも開設することができました。コメントで声をかけてくれる人や、応援し合える仲間に出会えたことで、『自分にもできるんだ』と大きな自信になりました。配信は、自分にとって居場所であり、社会とつながり直すきっかけになっています。」

プロダクションリーダー　どりー　コメント



どりー（日間ランキング 1 位、事務所新人ランキング 1 位）

「初めて配信したときは、何を準備すればいいのか、何を話せばいいのかも分からず、全部ひとりで始めました。あの頃、隣で『一緒にやろう』と言ってくれる仲間がいたら、どれだけ心強かったか。だから今度は、私がその人になろうと決めました。OKLIVE に『ありがとう』を大切にしてきた会社の想いがあると知って、ここなら安心して仲間を迎えられると思いました。配信は、ひとりで頑張らなくていい。もらった優しさを次の誰かへつなぎながら、初めての配信も、その先のお仕事も、一緒に歩いていきたいです。」

代表コメント



株式会社オーケーウェブ

代表取締役社長　杉浦 元

「私たちは 1999 年の設立以来、困っている人と、自分の経験で誰かを助けたい人をつなぎ、『ありがとう』が生まれる場づくりに取り組んできました。ライブ配信もまた、誰かの何気ない言葉や笑顔が、見ている人の支えになる場所です。その一方で、配信者が誹謗中傷にさらされたり、ひとりで悩みを抱え込んだりする現実もあります。27 年間、安心して助け合える場を守ってきた私たちだからこそ、配信する人も応援する人も、感謝でつながり続けられる環境をつくれると考えています。」

今後の展望

今後は、ライバーが対面で会える配信拠点を全国に広げていきます。あわせて提携ライバーを順次紹介し、企業や地域の PR 案件を通じて、ライバーが配信で育てた発信力を活かせる場を増やしていきます。オーケーウェブと JINEN は、OKLIVE を通じて、配信する人と応援する人のあいだに「ありがとう」が行き交う配信文化を育てていきます。

OKLIVE 概要

サービス名	OKLIVE（オーケーライブ）
提供開始日	2026 年 11 月 15 日
サービス内容	ライバーの育成、配信サポートシステムの提供、ライバーコミュニ

	ティの運営、企業案件の紹介
URL	https://oklive.jinnen.co.jp/

出典

※1 野村総合研究所 推計（2025 年）

※2 推し活総研「第 2 回 推し活実態アンケート調査」（2025 年 1 月、15〜69 歳、23,069 人）

※3 総務省委託「違法・有害情報相談センター」相談件数（2024 年度）

会社概要

会社名	株式会社オーケーウェブ（OKWEB, Inc.）
代表者	代表取締役社長　杉浦 元
所在地	東京都港区芝 4 丁目 4-5 三田 KM ビル 5 階
設立	1999 年 7 月
上場市場	名古屋証券取引所ネクスト市場（証券コード：3808）
事業内容	Q&A コミュニティ「OKWAVE」の運営、サンクスカードサービス「GRATICA」の提供ほか

会社名	JINEN 株式会社（当社完全子会社）
代表者	代表取締役　本嶋 崇志
所在地	東京都中央区日本橋富沢町 9-4 THE E.A.S.T.1F
事業内容	コミュニティ設計・運営支援、結アセスメント（16 タイプ診断）、コミュニティマネージャー育成
URL	https://jinnen.co.jp/

本件に関するお問い合わせ先

OKLIVE 担当／広報窓口

お問い合わせフォーム：https://okweb.co.jp/ir/contact/form01/

当社は今後も、感謝でつながるコミュニティをつくり育て、人と人との良い関係性を通じて、社会のウェルビーイング向上に貢献してまいります。

※記載されたサービス名称、製品名は各社の登録商標または商標です。
※ここに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。